

報道関係者各位

2023年6月13日
株式会社ナイルワークス

高校生に、ドローンによるスマート農業を実演 — ナイルワークス、自動飛行ドローンで農業を次世代へ —

株式会社ナイルワークス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小嶋 康弘、以下「ナイルワークス」）は、2023年5月22日（月）に、宮城県登米総合産業高等学校（以下「登米総合産業高校」）のスマート農業に関する授業で、ドローンによる除草剤散布の実演を行いました。

農業を学ぶ高校生が、スマート農業を体験

宮城県登米市は環境保全米発祥の地であり、登米総合産業高校では、稲作農業に関わる仕事に関心を寄せる生徒も数多くいます。生徒は、「農業をやる人が少なくなってきているので、自分は農業をして、祖父の家の農業を継ぎたい。」「母の実家では、色々な種類の野菜や水稻を栽培していて、自分も農業の知識をつけたい。」と夢を語っています。そのため、登米総合産業高校では、教科書でも取り上げられつつあるスマート農業を学ぶ授業を企画し、2023年5月22日（月）、農業科の2年生およそ30人が、田植え体験とドローンの実演を見学しました。ナイルワークスは、この授業で、ドローンによる除草剤散布を実演しました。



スマート農業に、ドローンは欠かせない

日本では、農業就業人口の減少や高齢化、世代交代に伴うノウハウの断絶など、様々な課題を抱えています。農業全体が抱える課題を解決するため、ナイルワークスでは自動飛行ドローンを開発・製造・販売し、農作業の省力化や高品質生産の一端を担い、これからの農業を支えていきたいと考えています。それを実現するためには、次世代を担う高校生に、農作業の現状やドローンの特長を説明し、ドローンの飛行を見学していただくことにより、農業の面白さを伝えることも大切な活動だと考えています。

スマートフォンのボタンを押すだけでドローンが自動で飛行し、除草剤を散布する様子を目の当たりにした生徒からは、「少ない人数でも、広い面積で農業ができるのはすごい！」「昔は、農作業の全部を手作業でやっていたそうですが、これからは、すべてスマート農機でやることができたら、面白そう！」という声があがりました。



ナイルワークスは、新しい農業を拓く

当日、授業で実演したナイルワークスのスタッフは、「農作業に大変な労力がかかっていた時代から、自動飛行ドローンを活用することで、女性の私でも簡単に除草剤散布ができる時代になっています。未来を担う高校生が、最新の農業の取り組みに対して理解を深め、農業に夢や希望を持ってもらえたら嬉しい。」と話しています。ナイルワークスは2015年に創業したベンチャー企業だからこそ、地域の農業を支える未来のリーダーとなる高校生に、自ら挑戦する楽しさを伝えたいという想いもあります。そして、高校生との交流を機に、高校生の価値観や社会に求めるものを吸収し、製品・サービスの創造や改善にも挑戦していきます。



■ 関連情報

宮城県登米総合産業高等学校 : <https://tomesou.myswan.ed.jp>

■ 会社概要

設立 : 2015 年 1 月

所在地 : 東京都千代田区神田錦町一丁目 4 番 3 号

代表者 : 代表取締役社長 小嶋 康弘

事業内容 : 農業用ドローンの開発、製造、販売

デジタル農業・農業 DX における技術開発、サービス提供

URL : <https://www.nileworks.co.jp>

以上

本件に関する問い合わせ先

株式会社ナイルワークス 広報

TEL:03-5577-3071 Email:pr@nileworks.co.jp